

# 茶華道部

## R6年度の部員数

(1年 8人 2年 10人 3年 6人)

## 主な活動内容

茶華道部は毎週火・金曜日、週2回、講師の先生(表千家)にお点前を習っております。年間を通して、割げいこに始まり、客作法、薄茶点前、濃茶点前、略手前と季節ごとにその風情を味わいながらお稽古を重ね、その作法を学びます。

向上心が高く、2・3年生の多くの部員が茶道表千家「入門・習事・飾物」の許状の申請をし、3年生は全員が取得して引退となりました。

夏休みには、表千家家元主催「学校茶道研修会」が京都で行われ、2年生の希望者7名が参加しました。家元の茶室『不審菴』の見学と内弟子による千利休の話、大広間での茶会を体験しました。歴史ある茶室での研修は、身の引き締まる思いで貴重な経験となりました。

9月の城陵祭では「お茶会」を開催しました。夏休み中に講師の可知先生の指導の下、浴衣の着付けを習得し、お茶会当日は浴衣姿でお点前、お運びを交代で担当しました。台風の影響で平日開催に変更となりましたが、100名近くのお客様にお抹茶と和菓子を楽しんでいただきました。

11月には、恵那市民茶会に1・2年生の希望者4名が参加し、薄茶・野点・お点心をいただき、一般の方との交流もできました。また「清流の国ぎふ」文化祭2024「なかつがわ総合文化祭」市民茶会に1・2年生の希望者7名が参加し、お点前、お運びをしました。

日本の伝統文化である茶の湯を通して、日本人の和の心を大切に、一つ一つ楽しみながら学んでいきたいと思っております。



なかつがわ総合文化祭「市民茶会」の様子



お稽古の様子



城陵祭「お茶会」の様子

📌「清流の国ぎふ」文化祭2024 なかつがわ総合文化祭 市民茶会にてお点前・お運びをする様子が、令和6年12月、中津川市文化協会発行、第59号「文化の響き 滔々」に掲載されています。(転載の許可をいただきました)